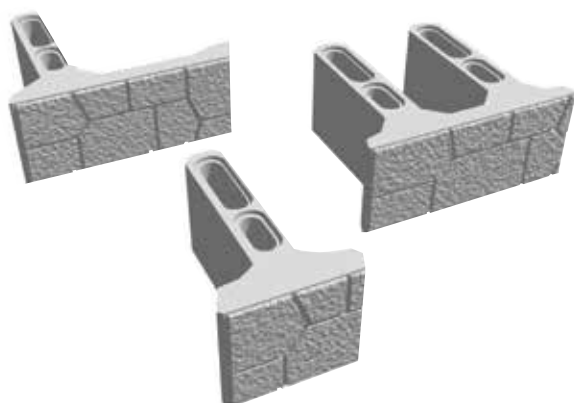


＜NETIS登録＞ ゴールコン

実績



特長

1. 「道路土工一擁壁工指針」に準拠した組立式L型(逆T型)擁壁で、本ブロックと現場打ち基礎コンクリートが、縦貫鉄筋によって強固に一体化となります。
2. ゴールコンは垂直積み擁壁であるため、用地ロスが少なく、また内外曲線が簡単に施工できます。
3. 組立式であるため、一体型のL型擁壁の搬入が困難な現場に優れています。

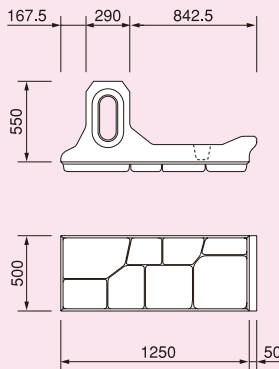
FUJI COLLECTION
[擁壁シリーズ]

組立擁壁

ゴールコン

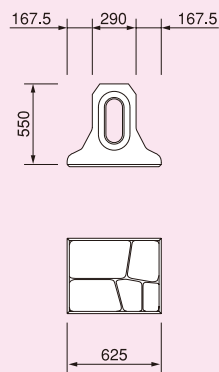
寸法図

500 A



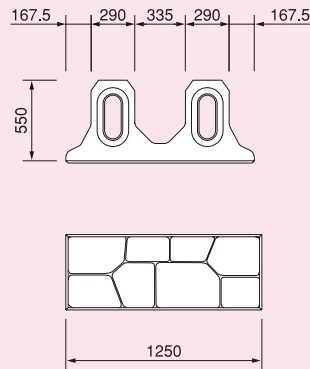
参考重量：317kg

500 B



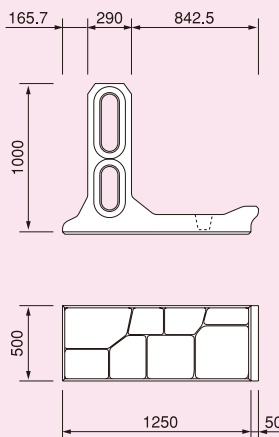
参考重量：180kg

500W



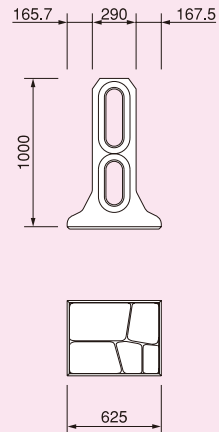
参考重量：474kg

1000 A



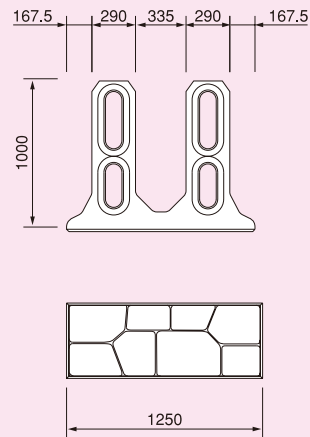
参考重量：373kg

1000 B



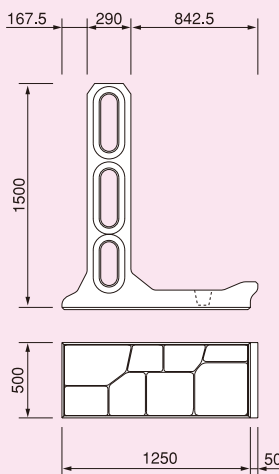
参考重量：235kg

1000W



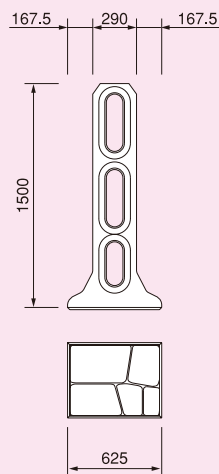
参考重量：582kg

1500 A



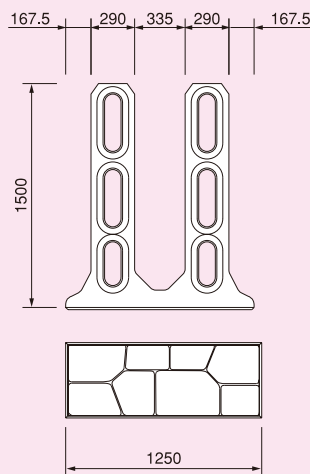
参考重量：445kg

1500 B



参考重量：307kg

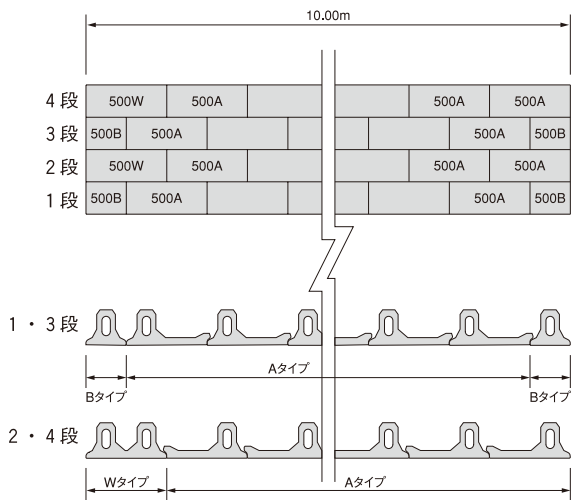
1500W



参考重量：728kg

* コーナー用も有り (60°～165°)

布設図

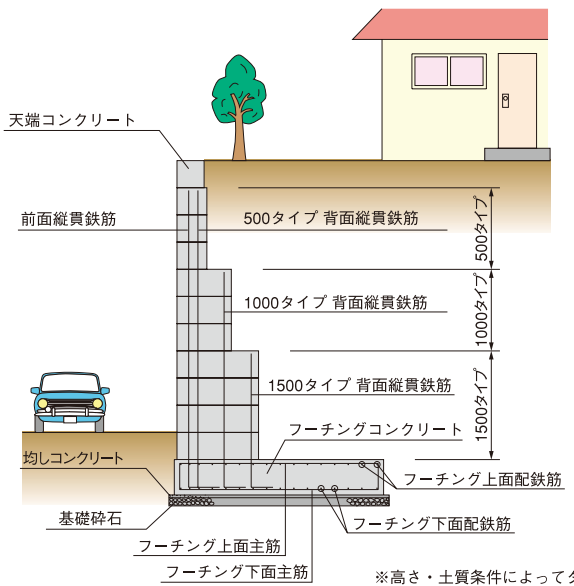


左図の参考布設図のようにA型を正位、反転して反位とする。
基礎コンクリートの所定位置に立上げた縦貫鉄筋に対して端部又は、コーナー部を起点として1段目を構築し左右に延長する。2段目はいずれのゴールコンも反位で構築する。順に3段目正位、4段目反位とする。

数量表

名 称	胴込量 (m³/個)
500 A 型	0.019
500 B 型	0.019
500W型	0.038
1000 A 型	0.045
1000 B 型	0.045
1000W型	0.090
1500 A 型	0.071
1500 B 型	0.071
1500W型	0.142

標準構造図



財団法人土木研究センターの認定を受けており、現場打ち鉄筋コンクリート擁壁と同等の構造性能を有しています。
また、Nタイプを使用することで、鉛直壁高さが最大：10.0mまでお使いいただけます。

※高さ・土質条件によってタイプ及び段数が変化します。

参考歩掛表

ゴールコン		(10㎡当り)			
工 種	名 称	数 量	単 位	備 考	
積工	500型	$a : 0.625 * X + 0.3125 * Y + 1.0975 * Z$	m²	A 型、W 型 = $0.6250 \text{ m}^2 / \text{個}$ X = (A 型 + W 型) 個数	
	1000型	$b : 0.625 * X + 0.3125 * Y + 1.0975 * Z$	m²	B 型 = $0.3125 \text{ m}^2 / \text{個}$ Y = (B 型) 個数	
	1500型	$c : 0.625 * X + 0.3125 * Y + 1.0975 * Z$	m²	C 型 = $1.0975 \text{ m}^2 / \text{個}$ Z = (C 型) 個数	
	土木一般世話役	$0.20 * (a + b + c) / 10.0$	人		
	特殊作業員	$0.20 * (a + b + c) / 10.0$	人		
	普通作業員	$0.40 * (a + b + c) / 10.0$	人		
	ホイールクレーン25t吊	$0.20 * (a + b + c) / 10.0$	日		
	諸雑費	11.00	%		
	胴込コンクリート		m³	上表より	
フーチング工	縦貫鉄筋		kg		
	コンクリート		m³		
	型枠		m²		
基礎工	鉄筋		kg		
	均しコンクリート		m³		
	型枠		m²		
	砕石		m²		

プレキャストブロック式RC擁壁 設計施工維持管理マニュアル「(財)土木研究センター」より
諸雑費は、敷モルタル、目地モルタル、排水防止材の材料費であり、労務費とクレーンの合計に乗じた金額を計上して下さい。